



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

紀南高等学校
書道部 編

紀南高等学校 書道部

仲間の存在を支えに、書をしたためる

大会への作品出品や文化祭などの作品展示を通して、技術を磨く紀南高校書道部。毎年、丸山千枚田の田んぼオーナーの名前を、部員が立て札に書き下ろすなど、地域に向けた活動にも力を入れています。

Q1 部活の魅力は？

A1 (榎作さん) 1人でたんと作品を書くときが多いですが、いやなことがあっても仲間が励ましあって気持ちよく切り替えることができます。

部長 榎作 和香さん (ひづり ほのか)



Q2 部長として心がけていることは？

A2 (榎作さん) みんなが話しやすい雰囲気をつくるためにも、自分から声をかけるようにしています。

Q3 部員の強みは？

A3 (榎作さん) 一人ひとりが個性的で、コミュニケーションを通じて視野を広げられることです。それぞれの趣味が異なるため、話すたびに新しい発見があります。



Q4 現在の目標は？

A4 (榎作さん) 11月に開催される近畿高等学校総合文化祭は、3年生の自分にとって最後の大会。悔いのないよう、納得のいく作品に仕上げたいです。

(正崎先生) 三重県高等学校総合文化祭と高校の文化祭です。大会では書道部門で県代表になることを、文化祭では書道を通して学校を盛り上げることを目標にしています。



二次元コードを読み取ると書道部のコメントが見られます。



Q5 部の課題は？

A5 (榎作さん) 週1回の活動日以外にも、主に全員が集まり、もつと部活動を盛り上げたいです。



顧問 正崎 由衣先生

Q6 これからどんなチームにしていきたいですか？

A6 (榎作さん) 部員4人のうち1年生が2人、3年生が2人。2年生がいないため、今後1年生だけでも部活動を運営していきたいように、後輩の育成に努めたいです。



顧問 中森 葉月先生

Q7 部活を通じて学生に学んでほしいことは？

A7 (正崎先生) 道具の管理や仲間とのコミュニケーション、互いの作品を見て技術を高めあうことで、人として成長してほしいです。また、ボランティアに参加して社会貢献をすることで思いやりをもって人のために行動できる人になつてほしいです。

(中森先生) 書道パフォーマンスをきっかけに書道に興味をもち、そして集中力を身に付けてほしいです。

Q8 部活を通じてこれから先生が取り組んでいきたいことは？

A8 (正崎先生) 文化祭などでの作品展示を通して、部員以外に書道の魅力を発信していきたい。また部員の募集にも力を入れます。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!